

広報

おひし

NO. 470
平成9年10月10日



今年の作は……

学校田でコシヒカリの収穫



〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL0257-68-3111 FAX0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社 (毎月10日発行)

人口の動き
—10月1日現在—
男 4,249 (+1)
女 4,318 (+4)
計 8,567 (+5)
世帯数 2,269 (+8)
() は前月比較

議会報告

九月十九日から始まった第七回川西町議会定例会の全日程が二十五日に終了しました。

十九日は、八人による町政に対する一般質問があったあと、新設条例二件が所管の常任委員会に付託されました。

二十四日には、平成八年度川西町一般会計歳入歳出決算ほか六つの特別会計歳入歳出決算と水道事業会計決算を認定しました。

二十五日には、所管の常任委員会に付託となっていた新設条例「川西町行政手続条例」と「川西町附属機関設置条例の一部を改正する条例」ほか五件の条例一部改正が原案どおり可決され、新設条例「川西町防犯推進に関する条例」が修正可決されました。

次に、平成九年度川西町一般会計補正予算（第四号）及び川西町国民健康保険特別会計補正予算（第二号）ほか四つの特別会計補正予算が原案どおり可決されました。

続いて、固定資産評価審査委員

会委員に数藤信行さん（沖立・50歳）を選任することに同意し、「生産者米価の下支え制度を求め意見書」ほか三件の意見書提出を可決。次の特別委員会の設置を決めました。

◎は委員長、○は副委員長、順不同・敬称略

◆克雪水資源対策特別委員会

◎金子 澄男 ○吉栗 正実

戸田 慎一 丸山 重信

上村 晴夫 星名 富一

押木 貢 羽鳥 力夫

◆都市計画対策特別委員会

◎北村 公男 ○村越 勝蔵

小海 博 清水美代子

小林 正夫 高橋 や一

清水 進 戸田 哲次

◆議会広報特別委員会

◎上村 晴夫 ○押木 貢

清水美代子 戸田 慎一

村越 勝蔵 金子 澄男

行政手続条例の説明

【ねらい】

行政を公正・透明な手続きに従って進めることが今日強く求められており、このため、町でも処分、行政指導及び届け出に関する手続きに関し共通する事項を定め、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図り、町民の権利利益の保護に資することを目的として設置されました。

【ポイント】

1 申請に対して迅速・透明な処理の確保を求めており、申請が許可可などの要件に適合しているかどうか判断するための具体的基準を定め、公にします。申請書に対し秘密にしない、ということとす。

また、申請から処分までに要する標準的な期間を定め公にし、審査事案の放置や処理の遅滞を排除するため、申請が到着したときは、遅滞なく審査を開始するよう定めています。

2 不利益処分の要否・内容について判断するための具体的基準を定め、公にします。また、処分の名あて人に対し、あらかじめ通知し、弁明書を提出する機会を与える弁明手続を設け、資格又は地位を奪う処分をする場合には、口頭により主張、立証する機会を与え、当事者は、処分の理由となる事実を証する文書などの閲覧を求めることができます。

3 行政指導を行う場合には、従わないことを理由とした不利益な取り扱いを禁止しています。また、申請の取り下げや許可可などの権限による行政指導をする場合には、申請者の権利の制限や、地位を利用した指導をするようなことを禁止しているほか、その趣旨、内容、責任者を明確にし、求めに応じて書面を交付、事業に依りて、行政指導に関する指針を定め公表することとしています。

本紙七月号で平成九年度地域活性化プロジェクト支援事業（後期分）を募集したところ二団体から応募があり、次のように決定しました。

（後期分）

番号	申請団体	事業費・場所	内 容	事業費	補助金額
1	山野田親和会 代表 清水止昭 会員 11人	《事業名》 山野田ふれあい事業 《場所》 山野田地内	《アピール》 1 春の観桜会・納涼会などの独自の催物の開催 2 町内行事参加への規模の拡大 《内容》 1 会場用のテント1張 2 照明装置の購入 3 催事用ユニフォームの購入	264	133
2	かわにし地球学会 代表 松本一仁 会員 15人	《事業名》 地球環境講演会開催 《場所》 川西中学校体育館	《アピール》 1 地球環境の悪化が深刻な問題になっている中、今回この問題についてのトップクラスの講師を招き、講演会を開催する。 《内容》 講演会の開催（講師：ネットワーク「地球村」代表 高木善之） 期 日 10月8日 PM6:30～ 場 所 川西中体育館 入場料 大人・500円 中高生・無料	285	111

地域活性化プロジェクト支援事業

低利な融資制度、有利な補助金制度

応援します 雪に強い家づくり

11月28日までに連絡ください

町では、屋根の雪おろし作業の解消と、安全で快適な克雪住宅を普及したいと、一定の要件に該当した住宅に対して、低利な融資制度、有利な補助金制度を設けております。

平成10年度中に住宅の新築や、屋根の改良を予定している方で融資制度、補助金制度の申し込みを希望する方は、11月28日までにご連絡ください。これは、来年度制度利用予定者の数を把握するためのものです。

なお、3月10日号「広報かわにし」に掲載のとおり、平成10年度より落雪式、落雪式高床式併用の住宅については、補助対象とはなりませんのでご注意ください。また、克雪住宅の建築、屋根改良計画がありましたら、いつでもご相談ください。



屋根の雪おろしの開放は、雪国で住む者にとっては大変大きなメリットです

〈連絡先〉

建設課都市計画係 ☎68-3111 (内線323)

◎融資制度 最高500万円(300万円) 利率は2.0%(5.0%)

区分	融 資 対 象	融 資 額	融 資 利 率	融 資 期 間
融雪式	<p>平年雪に対して屋根の上で融雪できる施設を備えた建物の新築・増築・改築、又は屋根部分の改良融雪施設の設置に要する経費。ただし、地下水の開放利用を伴うものは除く。</p>	<p>融資対象経費の50万円以上500万円以内とする。 (融資額は10万円単位)</p>	年2.0%	15年以内
落雪式	<p>屋根の構造、勾配等により人力によらずに落雪する建物の新築、増築、改築又は屋根部分の改良、施設の設置に要する経費で、次の各号のすべてに該当するもの。 (1) 階高(床下部分の構造が非木造で、その部分に居住室がないもの)が1.5m以上あること。 (2) 屋根勾配が概ね25度以上で、金属板等滑雪能力のある材料を使用したもの。但し、特に滑雪能力がある材料を使用する場合の屋根勾配はこの限りでない。 (3) 落雪側の外壁から、隔地境界線までの距離を軒高の70%以上確保すること。但し、屋根形状により落雪が隣地に影響を及ぼさないと認められる部分についてはこの限りでない。 (4) 外壁から道路及び河川境界線等までの距離を2.5m以上確保すること。</p>	<p>融資対象経費の80%以内で50万円以上300万円以内とする。 (融資額は10万円単位)</p>	年5.0%	
耐雪式	<p>3.0m以上の積雪荷重にも安全であることが構造計算等で確認でき、かつ雪び対策を講じた2階建以上の建物、及び平屋建で5台以上収容可能な共同車庫の新築・増築・改築に要する経費。ただし、アーチ型に類するものは除く。</p>	<p>融資対象経費の80%以内で50万円以上500万円以内とする。 (融資額は10万円単位)</p>	年2.0%	

※ 融雪構造家屋の新増改築の場合 屋根面積 66㎡以下 (融資限度額300万円) 66㎡超～100㎡以下 (融資限度額400万円) 100㎡超 (融資限度額500万円)

※ 落雪式家屋の新増改築の場合 床面積 100㎡以下 (融資限度額200万円) 100㎡超 (融資限度額300万円)

◎補助金制度 最高限度は融雪式・耐雪式44万円

克雪住宅の種類	要 件
融雪式	<p>熱エネルギー(電気、ガス、灯油等)又は地下水等の利用により屋根融雪できる施設(構造)の住宅の新築、増築、改築及び改良。ただし、地下水かん養施設を設置した以外の地下水等の開放利用のものは除く。</p>
耐雪式	<p>3.0mの積雪荷重(1㎡当たり900kg)に対し、安全であることが構造計算等により確認でき、かつ雪び対策を講じた住宅の新築、増築及び改築。</p>

※平成9年度分の融資制度、補助金制度の申し込みは、10月末日をもって締め切らせていただきますので、まだ申し込みをされていない方は、お急ぎください。

家計簿

平成八年度の決算が、九月二十四日の議会定例会で認定されました。この決算は、平成八年四月一日から九年三月三十一日までの収支をまとめたものです。一般会計の概要をお知らせします。

歳入は、五十八億八千三百二十三万円、歳出は五十六億二千六百九十万円で、七年度決算に比べて歳入では三・七パーセント、歳出では四・一パーセント減少しました。

歳入には、町税、分担金、負担金、使用料、手数料など、町が自らの手で徴収することのできる「自主財源」と、国県支出金、地方交付税、地方譲与税、地方債のように、国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする「依存財源」によって構成されています。

町の歳入構造は、依存財源の割合が高く、八年度決算は七年度より七・九パーセント増えて七四・八パーセントとなり、自主財源率は三〇パーセントを大きく割り込んでしまいました。

歳出のうち、主な建設事業としては、ナカゴファミリールーフ場造成工事や特定公共賃貸住宅建設工事、千手地区の特定環境保全公共下水道事業（繰入金）、仙田・三箇地区の農業集落排水事業（繰入金）、道路の改良舗装工事などがあります。

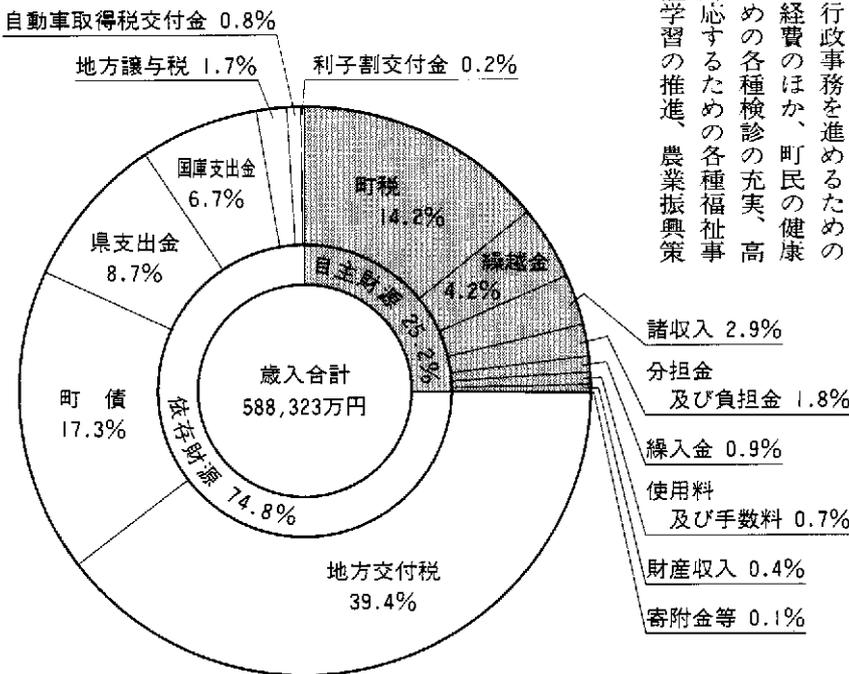
また、行政事務を進めるための経常的な経費のほか、町民の健康保持のための各種検診の充実、高齢化に対応するための各種福祉事業、生涯学習の推進、農業振興策

など、目に見えないところにも、みなさんの大切なお金が使われています。



健康であることは何よりの財産です

歳入

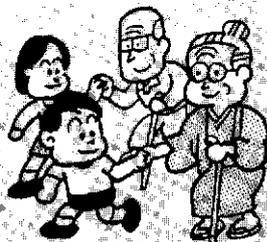


総額56億2,690万円はこのように使われました

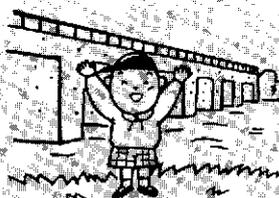
農林水産業費 11.8%
6億6,645万円



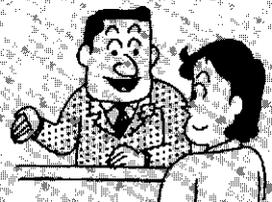
民生費 12.5%
7億658万円



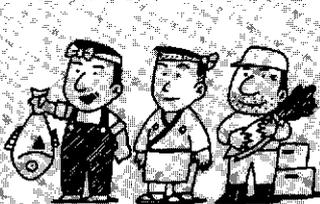
土木費 15.9%
8億9,722万円



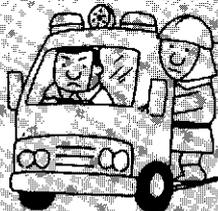
総務費 21.2%
11億9,185万円



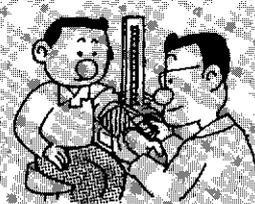
商工費 2.9%
1億6,322万円



消防費 3.5%
1億9,633万円



衛生費 5.6%
3億1,368万円



災害復旧費 6.8%
3億8,327万円



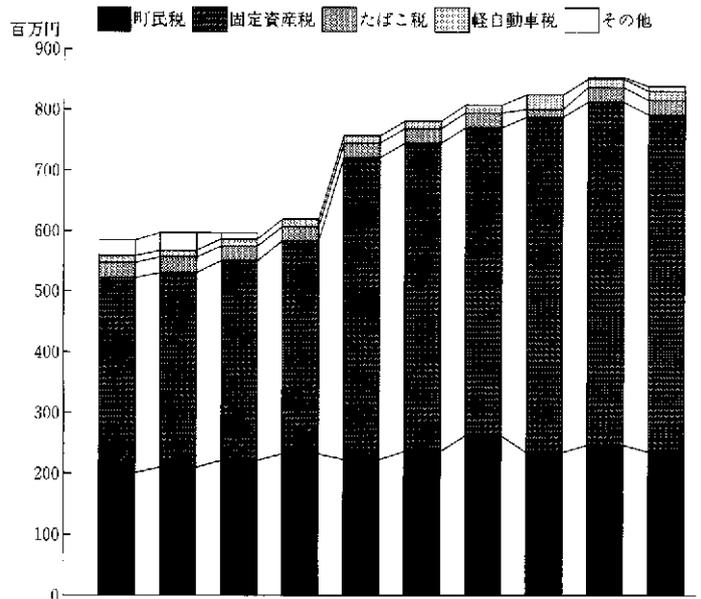
特別会計決算

国民健康保険	歳入	5億4,236万 円
	歳出	5億 208万5千円
国民健康保険診療所	歳入	2億5,838万4千円
	歳出	2億5,373万4千円
老人保健	歳入	9億 326万8千円
	歳出	8億9,989万1千円
簡易水道事業	歳入	1,708万 円
	歳出	1,681万7千円
農村集落排水事業	歳入	7億1,187万4千円
	歳出	7億 869万7千円
下水道事業	歳入	11億1,069万 円
	歳出	11億 731万6千円

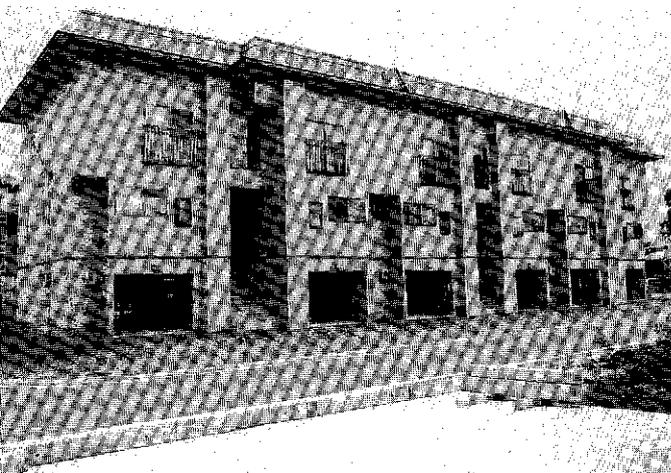
平成8年度決算

お知らせします 町の

過去10か年の町税収入の推移



項目	年度	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8
町民税		201	210	221	232	223	236	262	235	247	236
固定資産税		321	320	329	351	498	509	509	553	566	556
たばこ税		25	26	24	24	24	24	24	13	24	24
軽自動車税		11	11	12	12	12	12	13	24	14	15
その他		26	30	10	0	1	0	0	0	3	8



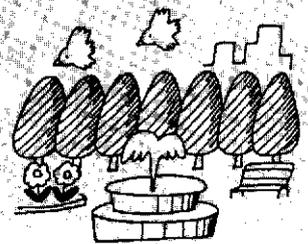
山野田原に建築された特定公共賃貸住宅
6世帯が入居されています

目的別歳出の内訳

教育費 8.9%
4億9,924万円



公債費 9.2%
5億1,566万円

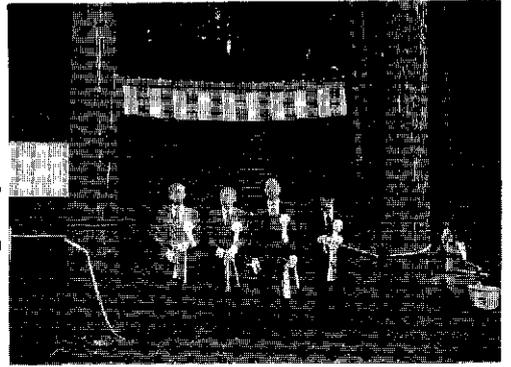


労働費 0.3%
1,657万円

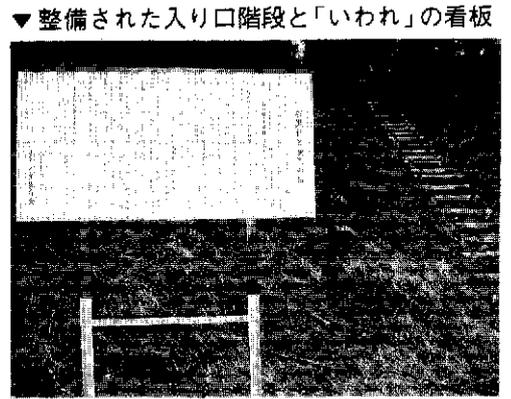


議会費 1.4%
7,683万円





▲関係者によるテープカット



▼整備された入り口階段と「いわれ」の看板

「竜馬の里」が誕生

旧水口沢村の鎮守・羽黒神社の跡が「竜馬の里」と名付けられて保存されることになり、整備が終り、そのしゅん工式が九月二十三日同神社境内で実施されました。これは、大字水口沢（総代石沢実さん）が地域ぐるみで羽黒神社跡を保存しようと境内などを整備し、階段入り口に竜馬の「いわれ」を書いた看板を設置。長い間語り継がれてきた名馬を誇りにし、郷土の歴史を知ってもらいたいと実施に踏み切ったもの。

（以下、竜馬伝説を保存会が記した文面より引用）

いつのころか、水口沢村の太田吉左衛門が馬を引いて山へ草刈りに行ったところ、突然大豪雨の襲来にあった。一天さながら墨を流

した如く、電光は草木も焼き尽くす如く、瀧の如き雨はものすごい風の間に間に左右に荒れ狂い、吉左衛門は失神してしまった。

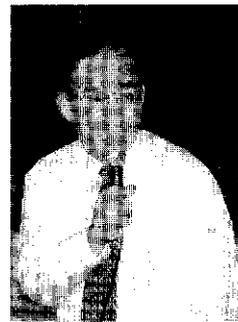
凄まじい一時が過ぎて、吉左衛門も息をふきかえした。その後馬の様子次第に変わり、やがて見事な子馬を出産した。成長するにつれ、その駿馬ぶりが近郷の評判となり、雨の中で天から降りて来た竜が授けた馬だといわれて、人々は竜馬と呼んだ。

名馬の噂を聞いた上杉謙信が引きとって乗馬にし、川中島の合戦（永祿四年―一五六一年）に出撃したと伝えられている。

千手の馬市は寛永十五年（一六三八年）このようなことから開かれたものだといわれている。

馬場さんが

「さわやかトーク」で知事に問う



平山 県知事

九月二日、十日町市のクロス10を会場に、「知事とのさわやかトーク」が開催され、郡市四市町村から五百人ほどが参加しました。この催しは、県民参加型の県政実現のため、知事が地域に向向いてその地域の課題について各界各層の県民から直接意見・提言を聴き、

県政に反映させるといふもの。町からは、馬場繁信さん（中央町・48歳）が二項目について質問しました。

「過疎化や少子化により、小学校現行のクラス四十人体制を引き下げられないか」という要望に対し、「学級の編成は国の基準で実施している。学級の増は人件費につながら、県単独では負担が多すぎて実施できない。国の路線に県が乗っていくことしか考えられない」とし、基準を引き下げる考えのないことが示されました。

また、ボランティアに対する現行の災害補償制度の充実を求めた要望に対しては、ボランティアの自主活動の中で進めていきたいとしながらも、検討の余地を残したものととなりました。



知事に要望する馬場さん

いろいろな催しを通じ 動物とふれあう



犬や猫たちと、ひとときを楽しく過ごしました

九月二十一日、川西中学校グラウンドで、97動物フェスティバルが開催されました。この催しは、動物愛護協会十日町支部（羽鳥宏史支部長）の主催で開かれたもので、十日町・六日町・小出の各保健所管内の市町村から、およそ四百人が参加しました。

まず、南雲町長のあいさつがあり、次に上野小学校六年の清水隆明君と渡貫紀子さんが動物愛護を

宣言。十日町・六日町・小出の各支部の動物愛護功労者や長寿動物飼育功労者などが表彰されました。そのあと、純粋犬種の紹介や警察犬の模範演技、しつけ教室、ゲームなどがありました。

また、会場では、ポニーの乗馬体験やペットの美容教室、動物とのふれあい広場などが設置され、参加者は動物と楽しいひとときを過ごしました。

第1回 十日町市・川西町小学校 親善陸上大会結果



9月22日、十日町市笹山陸上競技場で、第1回十日町市・川西町小学校親善陸上大会が開催されました。昨年まで市・町が別々に実施していた大会を、今年度からは合同で実施することにしました。
※1位～10位までの上位3位を紹介します。ただし、10位までに町内小学校の入賞者がいた場合、それを含め上位3位を紹介します。

▲5年男子 1,500メートル

〔男 子〕

5年100メートル

- ①中林将志(東) ②田口雄太(中条) ③遠田佑太(川治)

6年同

- ①山田洋平(東) ②藤巻 裕(橋) ⑦丸山祐樹(橋)

5年1500メートル

- ①丸山 真(橋) ⑦藤巻 繁(橋) ⑩藤巻直樹(橋)

6年同

- ①阿部由明(中条) ②丸山祐樹(橋) ③池田 暁(飛一)

5年走り幅跳び

- ④平野篤志(千手) ⑤樋口俊亮(千手) ⑧和久井喬(橋)

6年同

- ①金澤星児(水沢) ②藤巻 裕(橋) ③宮澤正春(水沢)

5年走り高跳び

- ①山家 真(橋) ③羽鳥雄祐(橋) ⑩片桐哲也(橋)

6年同

- ①根津賢二(東) ②瀧沢雄太(十日町) ⑩大久保晶史(橋)

5年80メートルハードル

- ①田口雄太(中条) ②小林 淳(川治) ⑤太田敏行(千手)

6年同

- ①水落寿裕(東) ②池田宏隆(東) ⑤片桐拓哉(橋)

5年400メートルリレー

- ①東

- ②西

- ③橋 (和久井喬、藤巻 繁、丸山 真、藤巻直樹)

6年同

- ① 東

- ② 橋 (大久保晶史、藤巻 裕、片桐拓哉、丸山祐樹)

- ③水沢

〔女 子〕

5年100メートル

- ①田川絵梨(東) ②馬場綾子(十日町) ③春日 恵(西)

6年同

- ①瀧沢文子(東) ②金子恵子(東) ⑥尾身彩佳(千手)

5年800メートル

- ①尾身三奈(真田) ②上村留美(鏡島) ⑤富井愛子(上野)

6年同

- ①江村友美(西) ③平野菜菜子(千手) ⑧丸山慶子(橋)

5年走り幅跳び

- ①駒形侑子(東) ②佐藤智美(鏡島) ③渡辺明子(橋)

6年同

- ①馬場寛実(吉田) ②金子恵子(東) ⑧登坂祥子(千手)

5年走り高跳び

- ①星名麻衣子(橋) ②柄澤菜美江(千手) ⑤沢口 瞳(上野)

6年同

- ①古澤みゆき(鏡島) ②根津寛美(東) ⑧保坂陽未(千手)

5年80メートルハードル

- ①外山静香(川治) ②上村絵梨奈(川治) ③阿部靖子(十日町)

6年同

- ⑦尾身彩佳(千手) ⑨柄澤直美(千手) ⑩小宮山妙(千手)

5年400メートルリレー

- ①川治

- ② 東

- ⑥ 橋 (星名麻衣子、村越麻美、羽鳥真美、渡辺明子)

6年同

- ①十日町

- ②千手 (柄澤直美、高橋恭子、登坂祥子、尾身彩佳)

- ③川治

敬老の日

千十一人に祝い品を贈る

老人週間（九月十五日～三十日）にちなんで、町からは七十五歳以上の千十一人に、県からは八十八歳（米寿）三十九人、百歳（上寿）一人と家族に、国からは百歳一人に敬老祝い品が贈られました。

八十八歳の方には、町長、助役、収入役が各世帯を訪問し、直接祝い品をお渡ししました。

今年、町では九十九歳（白寿）を迎えた方はおられませんでした。上寿、米寿の祝いを受けた方を紹介します。（順不同・敬称略）

◆上寿の祝

北村クメ（山野田）

◆米寿の祝

登坂キン（中島町）、星野八郎（発電所通り西）、田中国太郎（発電所通り東）、目黒太一郎（栄



南雲町長からお祝い品を受けた渡辺ヨキさん

町）、真明キクエ（上町）、

大井ミヨ（中央町）、小林セツ

（中屋敷）、小林サワ（中屋敷、

小林市四郎（木島）、小海大成

（寺尾）、星名シウ（沖立）、

数藤キセ（沖立）、星名佐平

（伊友）、茂野シゲ（高原田）、

蔵品マスイ（霜条）、渡辺ヨキ

（鶴吉）、丸山フジ（あかね園）、

小川ソカ（上野）、上村ハル

（上野）、金子トメ（元町）、

清水耕平（下平新田）、清水ハ

ル（下平新田）、山家誠二（木

落）、田口サク（木落）、戸田

千代（仁田）、佐藤ハル（野山）、

丸山義雄（根深）、高橋ハノ

（中仙田）、米山一郎（室島）、

川崎サオ（室島）、齊木利栄

（小脇）、押木二吉（田戸）、



大平助役(右)から祝い品を受ける山家誠二さん



水品収入役からお祝い品を受ける小川ソカさん

高橋きつ（赤谷）、小川ツサ（赤谷）、小川ノブ（岩瀬）、金子芳英（岩瀬）、桐生梅治（大白倉）、中村ミヨ（大白倉）、長谷川嘉平治（大白倉）

総務庁が九月十四、十五日現在の日本の高齢者人口（推計値）を発表しました。それによると、六十五歳以上の高齢者は千九百七十三万人で、総人口の一五・六％を占め、過去最高を記録しました。一方、県人口に占める高齢者人口の割合は一九・五％、当町は二五・六％となっています。



水品収入役からお祝い品を受ける小川ノブさん

（敬称略）

川西町長寿者番付

平成9年9月15日現在

東					西					
氏名	住所	世帯主	生年月日	年齢	氏名	住所	世帯主	生年月日	年齢	
平野キイ	上町	菊枝	M29.10.24	100	横綱	北村クメ	山野田	日出太	M30.4.10	100
星名ハマ	木島	得司	M33.3.5	97	大関	村山シマ	新町新田	若山昭治	M33.5.12	97
市川トウ	田中町	信二	M33.8.13	97	関脇	丸山タイ	東善寺	富司	M33.11.20	96
田村トネ	あかね園	本人	M34.3.9	96	小結	高橋トシ	木島	庄作	M34.3.29	96
数藤寅治	沖立	寅夫	M34.4.3	96	前頭	高橋惣治	室島	寅治	M34.6.5	96
宮トミ	山野田	啓一	M34.12.18	95	2	南雲ヤス	田中町	善二	M35.7.7	95
田村チャウ	鶴吉	一策	M35.7.23	95	3	押木竹尾	あかね園	本人	M35.11.28	94
田口キヨ	木落	直正	M36.1.7	94	4	丸山宗太郎	下原	本人	M36.2.26	94
富井カト	上野	宏行	M36.3.1	94	5	春日フク	伊友好	和	M36.5.25	94
小海クヨ	小根岸	益男	M36.10.23	93	6	石田コト	小脇	太郎松	M36.10.27	93
山田ヨシ	あかね園	本人	M36.12.10	93	7	星名ハル	学校町	美信	M37.1.27	93
星名梅治	下平新田	本人	M37.2.15	93	8	高橋ヒサ	中仙田	恒平	M37.3.4	93
相崎テイ	発電所通り西	貞雄	M37.3.17	93	9	井口定芳	仁田	一夫	M37.4.16	93
中村昌平	岩瀬	蓉子	M37.9.10	93	10	宮本貞子	発電所通り東	昌幸	M37.10.1	92

心身障害者の方は、

こんな福祉サービスが受けられます②

〔税金の軽減〕

○所得税、住民税の所得控除

身体障害者手帳一、二級、療育手帳A所持者は特別障害者控除、療育手帳B所持者は、障害者控除が受けられます。

〔所得税窓口〕税務署

〔住民税窓口〕税務署

○自動車税、軽自動車税、自動車取得税の減免

障害者本人又は生計を一にする者が所有し、本人が運転する場合のほか、生計を一にする者が専ら本人のため（通学、通院など）に利用する場合に減免されます。（障害種別、等級制限あり）

〔自動車税・自動車取得税窓口〕税務署

〔軽自動車税窓口〕税務課

○千手温泉の入湯税免除

身体障害者手帳一、二級及び療育手帳A所持者は、「千手温泉入湯税免除申請書」の交付を受けることにより、入湯税が免除されます。

〔入湯税窓口〕税務課

〔旅客運賃の割引〕

○JR

第一種心身障害者は、本人が百キロメートルを超えて利用する場合のほか、介護者とともに利用する場合に普通乗車券が五割引きになります。第二種心身障害者は、本人が百キロメートルを超えて利用する場合のみ五割引きになります。

〔窓口〕JR駅

○バス

身体障害者手帳及び療育手帳

所持者は普通乗車券が五割引き、定期券が三割引きになります。

〔窓口〕バス会社

○有料道路

身体障害者本人が運転する場合のほか、重度心身障害者については、その介護者が運転する場合において料金が五割引きになります。（住民課社会福祉係で割引証を交付）

○福祉タクシーの利用料助成制度

身体障害者手帳一、三級（三級は下肢、体幹障害のみ）及び療育手帳Aに対して、小型（福祉）タクシー基本料金（走車料金を含む）が割引となる利用券を年間十二枚交付します。また、身体障害者手帳及び療育手帳所持者には、料金が一割引きになる利用券を交付します。

〔その他の制度〕は次号でお知らせします。

※お問い合わせはそれぞれ窓口又は、役場住民課社会福祉係（☎68-3111・内線205）へ。

「心の健康講座」開催

●日時・会場

10月14日（火）保健センター4階

午後2時30分～4時

10月24日（金）

上野コミュニティセンター

午後2時～3時30分

●内容 講話「老年期のうつ病 痴ほうについて」

●講師

厚生連中条病院

精神科医長 須賀良一先生

●問い合わせ先

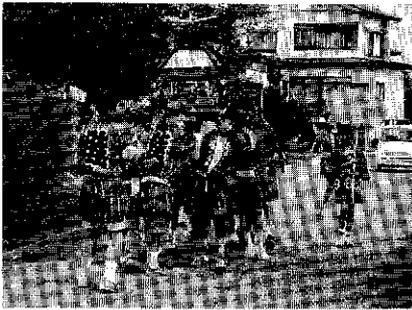
住民課係 ☎68-3111

*参加希望の方は、当日会場へお越しください。

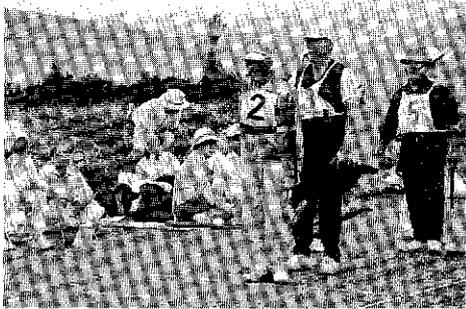
町道に植栽した花が彩る

町道新町新田中学校線の上野地内およそ250メートルに植栽した場所が「彩りの散歩道」と名付けられ、咲く花が通る人たちの目を楽しませています。

これは、去る六月に上野青年会が中心になって、地域住民や他地域の地域づくりグループに呼び掛けて整備したもので、8～9月には矮性コスモス、10月にはヤナギバヒマワリが見られます。一度お立ち寄りください。



▲9/6～7 千手まつり。山野田町内会では新しいおみこしを作りました



▲9/17 郡市交通安全ゲートボール大会



▲9/28 町秋季消防演習で、県大会に出場した成果を披露する沖立チーム



▲9/30 千手温泉で行われた高齢者交通安全のつどい

散歩の途中、足を止めてコスモスの花を見つめる光景がよく見られました



11/1(土)~3(日)かわにし 自満祭

↓1日の催し↑

会場 川西中学校

◆農業感謝祭

午前10時~11時

◆ピアノお披露目

(ゆーゆーコンサート)
午後1時~3時

◆映画上映

午後5時30分~7時30分

◆屋台村開店

午前10時~午後6時

会場 総合体育館

◆町民文化祭

◆川西町美術展

◆ビデオ上映

◆かわにしいいと写真コンテスト

午前9時~午後8時

↓2日の催し↑

会場 川西中学校

◆大なわとび大会

午前9時~11時

◆唄とおどりの祭典(芸能大会)

正午~午後4時

去年実施された「夢きやらばん」公演の1コマ



◆ミニ四駆大会

午前10時~正午

◆屋台村開店

午前10時~午後3時

会場 総合体育館

◆町民文化祭

◆川西町美術展

◆ビデオ上映

◆かわにしいいと写真コンテスト

午前9時~午後4時

↓3日の催し↑

会場 総合体育館

◆夢きやらばん公演

午後5時30分~7時

水槽付き消防ポンプ車

(社)日本損害保険協会が寄贈

九月八日、(社)日本損害保険協会(小野田隆会長)から十日町地域広域事務組合(村山悦司消防長)に、水槽付き消防ポンプ自動車一台が寄贈されました。

損害保険業界では、同損保協会を通じて、災害や事故の防止・軽減に貢献するため各種の防災事業を実施しています。消防自動車寄贈も昭和二十七年から毎年実施しており、平成八年度末で二千二百台が全国の地方自治体に贈られています。

今回寄贈された消防自動車は、全国で二千二百二十八台目、新潟県下で百二十台目となり、十日町地域広域事務組合への寄贈は昭和四十六年、五十五年に次いで三台目となります。

寄贈された消防自動車は「火災保険号十日町」と命名され、国の最高基準であるA-1級のポンプの性能、毎分三千リットルの放水能力を持ち、千七百リットルの貯水槽、油火災用消化機材(空気泡原液百リットル・粉末消火器三個など)を備えた二台目の水槽付き消防ポンプ自動車で、森林火災などの初期消火などに威力を発揮すると期待されています。本体価格

は千八百万円、各種装備付きで、約二千万円以上の寄贈となります。

この日の受納式で、村山消防長は「山林火災などの水源を見つけるのが大変な火災に威力を発揮する」と感謝の意を表していました。

同本部では、旧式消防車を廃棄し、この最新鋭消防車と交換する考えで、とりあえず南分署に配置したいとしています。また、十日町消防本部管内の六市町村では、はしご車、科学消防車、ポンプ車、救助工作車、普通消防車など、消防車十二台、救急車六台が配車されています。



寄贈された「火災保険十日町号」

川西町への歩み²⁰

岩瀬金子幸作

大貝を上小国村へ

有史以来、仙田郷十五カ村の構成村として生活を共にしてきた大貝が、郡境を越えて刈羽郡上小国村に分村合併したのは昭和二十七年七月のことであった。大貝は昔栄えた仙田街道の大沢榎峠付近を発祥地とするが、この集落は淡海川の瀬替えにともない、河床が沈下して耕地も遠くなることから流域の山麓に三回も降りて転住し、その度に仙田本村から離れて、淡海川を隔てた刈羽郡上小国村の三桶集落に隣接していった。

このため、不便な現状と将来の広域的な生活を考えた集落民が分村を決定し、村当局に申し入れ、話が円満にまとまって上小国村に編入されたものである。

町村合併に弾み

明治から大正へと進められた町村合併は、昭和に入ると高まる軍靴の足音に鳴りを潜めたかと思えた。それが再び注目されるようになったのは戦後の昭和二十七年ごろからで、川西郷六カ町村（千手町、上野村、橋村、真人村、仙田

村、吉田村）の合併は、県と町村の中間行政機関である中魚沼地方事務所的主导で推進された。

地方自治法が施行（昭和二十二年）されると町村の自治権限は大幅に強められたが、その規模は明治・大正期に合併したままの姿で、新制中学校舎の建設や行政事務量の増加が財政を圧迫し、財源の乏しい小さな町村はこれらの負担に耐えきれなくなってきた。

こうした実態から、国は昭和二十八年に議員立法で町村合併促進法を施行した。この法の具体的な目標は、概ね四カ町村をいどを合併するか、または小町村を隣接の市に吸収合併させることで現行の町村数を三分の一に減少し大規模町村にして自治能力を高めようとするものであった。

このようなおりに、仙田村が法の施行に先だって大貝の分村を承認した意義は大きく、上小国村への分離は国県からも高く評価されて以後の合併に弾みをつけることになった。

分村の理由書

大貝（三六世帯、二二〇人）は

役場の所在地である中仙田まで約二、三キロメートル、越境して刈羽郡上小国村役場まではその三分の一の四キロでしかなく、すべての面で上小国村に依存していたことから、両村議会はこの分村に満場一致で異議はなく、七月一日から施行された。ところが、申請の際に更正図の地番に見誤りが発見されて再度の申請がなされ、六ヵ月後の二十七年十二月一日から改めて施行された経緯がある。

仙田村と上小国村の境界を変更する理由書（新潟県市町村合併誌）に次のように記されている。

第一次の理由書

(1) 刈羽郡上小国村に編入せんとする中魚沼郡仙田村大貝集落は上小国村の南端に位し、上小国村の小学校が所在する三桶への距離は僅かに六百米にしか過ぎず、同村役場迄は約四料の距離である。然るに仙田村の小学校の存する小白倉迄は約二料であり、更に役場迄の距離は約十二料であり、この間の道路は冬季間雪崩によつて危険の多い道路でもあり、行政上の諸手続等についても不便を感じることは甚大なものがあつた。

(2) 仙田村大貝の児童生徒は上小国村の小・中学校に通学し、農協組合、青年団等も亦上小国村に加入し、郵便物、新聞等も上小国村より配達され、その他生活必需品の購入、交際関係など殆んど総て

の日常生活を上小国村に依存して居る実情であつて、上小国村との関係は非常に密接なものである。集落民も、上小国村への編入を多年に亘り切望しておつた。

第二次の理由書

中魚沼郡仙田村字池ノ外、明星の一部外十二字の全部を刈羽郡上小国村に編入することについては昭和二十七年七月一日をもつて施行となつた。然しながら、此の境界変更の結果中魚沼郡仙田村字池ノ外及び明星の八筆が刈羽郡上小国村内に飛地となり、又刈羽郡上小国村字池ノ外の四筆が中魚沼郡仙田村地内に飛地となつた為、行政上種々の不便があるので境界変更するものである。

大貝こぼれ話

上野は元町赤羽根の坂を登り、峯伝いに越ヶ沢の峠を赤谷へ降りて淡海川を越え、月沢から明星を経て鯖石川流域の大沢へ出たルートを魚沼の人びとは柏崎街道と呼び、逆に、刈羽、柏崎に住む人びとは仙田街道と呼称した。

総延長およそ四・五里（十六キロ）のこの街道が、昔、三島（山東、三東とも書いた）通りとか、または美之萬通りとか言われたことがあるのは、現在の刈羽郡、三島郡、柏崎市をまとめて三嶋郡と称した時代の名残りであろう。大沢の榎峠を北へ山野田寄りに

少し下つたあたりを、越ヶ沢から進出した小川族が開発して大貝の集落が誕生した。その年代は室町期以前にさかのぼり、道興准後の「回国雜記」や万里集九の「梅花無盡藏」にしたがえば、文明年間（一四六九〜八七）にはすでに小白倉裏山の淡海川べりに移住していたことになる。

仙田村の三役と議會議員は、上小国村主催の合併記念式典に招かれて全員が出席し、祝賀の酒に酔いしれて帰村した。これを目撃し「大貝を失つて村が貧乏したというのに何ごとか」と憤慨した村民が少くなかつた。現在の大貝は世帯数、人口ともに分村時と大差はなく、名代手打ちの「大貝そば」でムラおこしが進められている。



現在の大貝集落
平成9年8月写

お知らせコーナー

間伐材を利用したプランターデザイン募集!

県では、県内の林業振興の促進と美しい街づくりを目的として、間伐材を利用したプランターのデザインを募集します。木材の優れた特性を十分に生かした、美しく親しみのある創造性豊かなプランターをデザインしてください。

■応募資格

中学生以上の個人

■応募方法

A3版の白紙用紙一枚に、形状や寸法・模様がわかるようにデザインして、作品の裏面に住所、氏名、年齢、職業(学生・生徒

の場合は学校名と学年)、電話番号と作品の簡単な説明を明記してください。

■応募締め切り

10月31日(当日消印有効)

■応募及び問い合わせ先

〒九九五〇新潟市新光町五十一

千歳ビル四F

(財)新潟県都市緑化センター

プランターデザインコンペ係

☎〇二五二二八五五五二〇

『消防ひろば』を

開設します

十日町地域消防本部では、毎年、火災予防や防災教育を目的に、青少年から楽しみながら防災に関心を持っていただくため、消防ひろばを開設しています。

・日時 10月19日(日)

午前10時～午後3時

・場所 川西中学校

・内容

- ・ミニ消防車運転コーナー
 - ・はしご車試乗コーナー
 - ・ちびっ子救助隊コーナー
 - ・綿あめコーナー
 - ・風船コーナー
 - ・紙しばいコーナー
- このほかにも、いろいろなコーナーがたくさんあります。

健康管理講習会

町商工会では、真向法体操でおなじみの加茂さんを迎え、次のおり、健康管理講習会を開催します。お気軽にお出かけください。

・日時 10月15日(水)

午後7時から

・ところ 川西町商工会館

・講師 加茂真純氏

・テーマ 「からだの健全経営法」

一日五分・一日爽快

行政書士業務

無料相談所開設

・日時 10月19日(日)
午前10時～午後4時

・場所 クロス10

・内容 3階 第2会議室

・国有地売払申請、建設業許可、法人設立の定款作成、契約書、示談書作成など、各種許可申請に関すること。

第二回町長杯ゴルフ大会参加者募集

・日時 10月19日(日)雨天決行 午前7時30分～8時 受付

・会場 「ナカゴグリーンパーク」ショートゴルフコース

・大会方法 12ホール(パー38)

・参加費 5,000円(ブレイ代含む)

・申し込み締め切り 10月14日(火)必着(先着80人)

・申込先・問い合わせ先 サンパレスナカゴ ☎68-4419

役場開発課(☎68-3111)

エコクリーンセンターの ダイオキシン類排出濃度を測定

今、大きな社会問題となっているごみ焼却場から排出されるダイオキシン類について、十日町市川西町衛生施設組合設置のごみ焼却処理施設(エコクリーンセンター)の測定分析を実施しました。

その結果、エコクリーンセンターから排出されたダイオキシン濃度は一・〇ナノグラム(一ナノグラム＝一〇億分の一)でした。この濃度の値は、厚生省が緊急対策基準としている八〇ナノグラムを大きく下回り、また、恒久対策基準として示している五・〇ナノグラムをも下回る良い結果となりました。

現在、ダイオキシン類の発生メカニズムはまだ未解明の部分が残されています。しかし、プラスチック類や塩化ビニールを燃焼する際、より多くのダイオキシン類を発生すると言われています。

ダイオキシン類の排出削減は緊急の課題であり、そのためにはごみの減量化、分別化、リサイクルを推進するとともに、施設の適切な管理運営をする必要があります。これからも、町民の皆さんの一層のご理解とご協力をお願いし、廃棄物処理の安全対策に万全を期してまいります。

川西町長杯ゴルフ大会

・日時 10月26日(日)
午前8時 役場前集合

・講師 手島直利先生

・募集人員 30人

・参加費 1,000円
ほかに昼食代1,000円(希望者のみ)

・申し込み・問い合わせ
ハトヤ川西店
(☎68-2043)

善意

(敬称略)

福祉に

清水ハル(下平新田) 十万円
茂野喜一(室島) 三万円

表紙の写真

九月二十五日、千手小学校(小杉芳則校長・児童数三百三十一人)で、沖立地内にある学校田の稲刈り作業を実施しました。この作業は、毎年五年生が学級活動として取り組んでいるもので、今回は四十人がおよそ二アールのほ場のコシヒカリの稲刈り作業をしました。児童たちは、五月の田植え作業にはじまり、夏の草取り作業などもしながら、苗が成長する過程を観察。また、田植えから刈り取りまでの作業の仕方は、下島生産組合の人たちから指導してもらいました。この日も、刈り方や束ね方を教わったあと、それぞれが分担に従って作業をこなしていました。



刈り方や束ね方を生産組合の人たちから教えてもらう児童たち

かわいし

伊壇 高崎正風選

木犀の香に気がつけり立話
水引草玄関に挿し客を待つ
綾瀬市 野沢ますえ

秋の花小さく束ね病む人に
書く便り一枚で足る夜寒かな
野口 村越 由喜

先見えぬ農政案じ稲を刈る
灯ることなき廃屋や虫の闇
小白倉 田中 優美

日の暮る、子等ちりちりに花野かな
野良に出し母待つ日暮れ吾亦紅
足立区 涌井ハル子

虫の声しみじみと聞く仕舞風呂
香たいて送る佛や彼岸明け
岩瀬 登坂伊智子

少年をながく惹きつ蟻地獄
初蟬といへば誰もがうなづける
元町 金子 鉄平

石畳踏んで涼しく額づきし
秋風と思ひし今日の戦ぎかな
霜条 星名 星光

台風の進路我が娘の住む方へ
載きし茹栗にまだ温みあり
小白倉 江口みゆき

台風の中の雨月となりけり
刈田より煙流る、越路かな
練馬区 須藤 遊人

梨剥くやバンドの如く皮垂るる
新町新田 若山 向山

秋の雨山から暮れて来たりけり

元町 田畑 旭昇
汗かきの僧弱音吐く残暑かな
上町 高橋 願似

大役を終えし顔なる案山子かな
大倉 中条 石平

下されある祭半天五六枚
寺尾 白井すみい

コスモスに心の和む散歩かな
伊勢原市 金子 桂吉

花替えておはぎ供へし秋彼岸
高倉 斎木 和人

水盤の中にはばざりと間引菜を
山野田 藤田ひろ志

終戦息子は五十二と成りぬ
霜条 大海 白涛

お互いに達者を語り敬老会
野口 村越 幸

夏去りて稲穂垂れたる昔恋う
相模原市 佐藤 周三

孫の手に余る山栗秋日和
八王子市 松浦 サク

爽やかに医師の手厚き治療かな
野口 五十嵐トラ

陽の当る句碑に止まるや赤トンボ
高原田 引間 子舟

ふるさとの秋を語めたる宅配便
田中町 石沢 澄代

孫子等の秘密の基地に栗実る
赤谷 小林 哲

夕焼に紫紺の茄子のきらめける
浦和市 登坂 博史

休日救急医

10月10日	第二藤巻医院 (上野)	☎68-2018
12日	大熊内科医院 (山本1)	☎52-7066
19日	長山医院 (津南町)	☎66-2877
"	中条病院 (中条)	☎57-3018
26日	山口医院 (下条)	☎55-2003
11月2日	大島医院 (川原町)	☎52-2957
"	上村病院 (中里村)	☎63-2111
3日	大坪医院 (四日町)	☎57-6100
9日	長山医院 (津南町)	☎66-2877
"	中条病院 (中条)	☎57-3018

塩分のとりすぎに

注意しましょ

「砂糖はなくても生きられるが、塩がないと生きられない」とか、「うまい・まずいの塩加減」などと言われています。塩ほど私たちに最も身近で健康や食文化と関係の深いものはありません。

しかし、塩は体の中で重要な働きをしているものの、塩が不足したため病気になるという話は聞きません。

ところが、塩のとりすぎは、高血圧などの生活習慣病とのかかわりが大きく、塩のとりすぎは問題です。特に、老年になると味覚がぶつて、塩のとりすぎになることが多いので、是非注意したいものです。

「日本人の栄養所要量」によると、食塩は大人で一日一〇g(食物に含まれる塩二・三gも含む)以下を目標摂取量としています。この数字は、食塩をこれだけとらなければいけないという数字

ではなく、これ以下にすることが望ましいといった摂取目安で、食塩の最小必要量は一g未満と言われているほどです。

平成七年度の県民栄養調査では、平均一人一日当たりの食塩摂取量は一二・八gで、調味料から六・九gの食塩をとっています。やはり調味料の使い方が減塩のポイントになることが分かります。

少ない塩分でもおいしく食べるには、
・酢、レモンなど酸味を利用する。
・新鮮な材料を選び、材料の持ち味を生かす。
・香りのある野菜、香辛料などを使う。

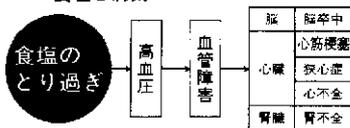
・天然のだしを上手に使うと味をひきたてる。(化学調味料は塩味をうすく感じさせますので、使いすぎに気をつけましょう)

調味料に含まれる塩分量

計量用大きじ(15cc)小さじ(5cc)による

調味料名	小さじ	大きじ
食塩	5g	15g
濃い口しょうゆ	0.9g	2.6g
薄口しょうゆ	1.0g	2.9g
淡色辛みそ	0.7g	2.2g
赤色辛みそ	0.8g	2.3g
甘みそ	0.4g	1.1g
ウスターソース	0.4g	1.4g
中濃ソース	0.3g	0.9g
濃厚ソース	0.3g	0.9g
トマトケチャップ	0.2g	0.6g
フレンチドレッシング	0.1g	0.4g
マヨネーズ	0.1g	0.3g

食塩と病氣



毎日の食事は、主食・主菜・副菜を組み合わせて、うす味に心掛けましょう。

戸籍の窓から

たかさごーご円満に

(島山 悟志 山野田
小林 千瑞子 中仙田 から)

(渡辺 智 暁 東善寺
横山 亜希子 十日町市 から)

うぶ声ーおすこやかに

山家 天文 文良 木落

沢口 莉子 幹夫 下平新田

星名 琴美 博司 沖立

佐藤 葵 正人 朝日町
井川 由莉香 一弘 新町新田
丸山 鼓 百合子 仁田

昇天ーごめい福を祈る

押木 カズ60(藤 栄) 元町
高橋 莊一74(務) 中仙田
星名 甚太郎78(政) 沖立
茂野 トワ81(喜) 室島
星名 リウ83(多) 上野
関 キク86(周) 発電所通東
相崎 唯七91(熊) 二 沖立
(9月1日から30日届け出分)

全国都市緑化にいがたフェア

キャラバン隊が来町



南雲町長にマスコットを手渡すキャンペーンガール

来年八月一日から十月十八日までの七十九日間、県立鳥屋野湯公園(新潟市)と県都市緑化植物園(新潟市)を会場に、「第15回全国都市緑化にいがたフェア」が開催されます。九月三十日、このフェア周知のため、キャンペーンガール三人を含むキャラバン隊が町を訪れ、歓迎を受けました。
南雲町長は、「町も花壇の出席をするなど、協力する体制を整えている。フェアが成功するため、いろんな機会をとおして、会場に足を運んでもらうようPRに努めたい」と激励をしました。皆さんも、ぜひ、お出かけください。

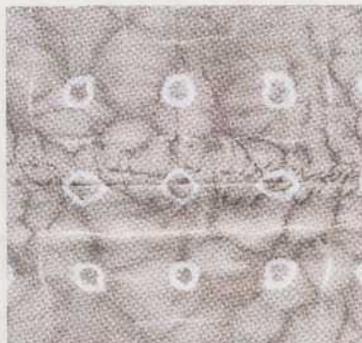
ちいさな展覧会

111

上野小学校



▲「いろいろはれるコルクボード」
5年生 小林弘樹 くん



▲「玉ネギでそめたハンカチ」
5年生 柄沢嘉希 くん



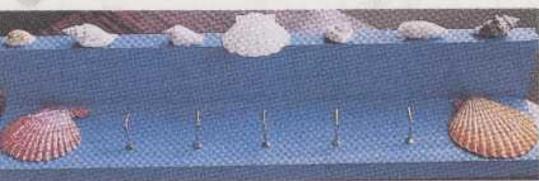
▲「けっしょうのペンダント」
2年生 高橋未来 さん



▲「なつの海」
4年生 高橋大輝 くん



▲「ミニブッシュ」
3年生 南雲香織 さん



▲「かぎかけ」
4年生 高橋拓朗 くん



▲「はり金の自転車」
6年生 片桐亜寿花 さん



▲「ひつじがのつてる車」
3年生 上村和也 くん



▲「ばちんこ ひこうき」
1年生 押木祐生 くん

(11月号は橘小学校です)